

## 令和5年度金沢市水道水源保全審議会 会議要旨

- 日 時 令和5年11月21日（火） 午後1時30分から午後2時30分まで
- 場 所 金沢市企業局 3階 301会議室
- 出席者 別紙のとおり
- 内 容 以下のとおり

事務局	ただいまから令和5年度金沢市水道水源保全審議会を開催する。
公営企業管理者	挨拶
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から委員を紹介（※石井委員については欠席により代理として坂口委員が出席）</li> <li>・委員の互選により原委員を会長に選任</li> <li>・会長が会長代理に中野委員を指名</li> </ul>
事務局	これより議事に移るが、条例施行規程第6条第1項の規定に基づき、ここからの議事進行は、原会長にお願いする。
会長	<p>本日の議題は3件。なお、議事については公開で進める。</p> <p>それでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議題の1「水道水源保全条例制定の経緯について」</li> <li>・議題の2「これまでの水道水源保全活動について」</li> </ul> <p>併せて事務局から説明を。</p>
事務局	<p>（水道水源保全条例制定の経緯について（資料1）に基づき説明）</p> <p>（これまでの水道水源保全活動について（資料2）に基づき説明）</p>
会長	<p>ただいまの事務局からの説明について、ご意見、ご質問をお願いします。</p> <p>はじめに、私から1点確認する。警告看板を設置しているとのことだが、警告内容は道路側から森側に入らないようにという趣旨で良いか。</p>
事務局	ご理解のとおり。本看板は道路に面して設置しており、道路側から森側（山側）に入らないようにとの警告内容となっている。

会長	現在道路が崩落しているとのことだが、復旧後には市民が散策等で立ち入ろうとする場合も考えられるということか。
事務局	ご理解のとおりである。
委員	事務局の説明ではクリーンウォークは現在実施していないとのことだが、水源保全リーフレットでは内川ダム周辺の清掃活動を実施しているとある。これは市民参加型の清掃活動は現在実施していないが、清掃活動自体は継続しているという認識で良いか。
事務局	ご理解のとおり。道路状況の悪化や獣害を鑑み、市民参加型の清掃活動は平成 29 年度を最後に中止している。現在は企業局職員による定期パトロール及び不法投棄対応を実施している状況である。
委員	林道の復旧について、詳細な予定を教えてください。
事務局	災害復旧工事の発注は、今年度中を目途としている。工事着手は来年度、竣工は再来年の予定である。
委員	水源涵養林の植樹は、残土処分場の跡地等に行ったとの理解で良いか。
事務局	ご理解のとおりである。
委員	植樹について、樹種の選定理由と苗木の入手先を教えてください。
事務局	樹種は、地元地権者の希望や金沢森林組合の助言も取り入れつつ、周辺の地山と同様の植生となるよう選定した。苗木は植樹事業を依頼した造園業者にて手配した。
会長	続いて、議題の 3 「今後の水道水源保全活動計画について」事務局から説明を。
事務局	(今後の水道水源保全活動計画について(資料 3)に基づき説明)
委員	水源涵養林の植樹について、新規の植樹候補地は選定しているのか。
事務局	現在のところ、新規候補地の選定は行っていない。 「企業局経営計画 2011」において設定した約 10,000m <sup>2</sup> の水源涵養林の植樹という目標を達成しており、植樹事業については一定の目途がついたと考

委員	<p>えている。</p> <p>一方で、これまでの植樹箇所において、例年雪害による損傷等が発生し、その補植等を実施している。今後は、そういった植樹箇所の維持・保全による継続的な育成管理を中心としていきたいと考えている。</p> <p>水源保全リーフレットは見やすさの点でもデザイン性でも良い啓発アイテムかと思うが、私自身このようなリーフレットの存在を本審議会ですべて知った。本リーフレットをもっと様々な箇所に設置して、金沢の水のおいしさの源流が水源にあるということを積極的に広報してほしいと思う。</p> <p>また現状、獣害等によりイベント的な啓発活動が山間部で実施できていないのは大変残念。水源の景色を実際に目にし、水がつくられる場所を感じることは、何物にも代えがたい、心に残る体験となり、水源保全に関する理解が深まるかと思う。森林再生課と協力するなどして、何らかの形で水源地の自然を体感できるような事業ができないか、今後も継続して検討してもらいたい。</p>
事務局	<p>水源に関する知識を普及推進していくことは肝要と考えているところである。水源地の景色を実際に見ていただくような体験型イベントの機会については、関係各所とも協力して検討してまいりたい。</p>
委員	<p>植樹の樹種について、周辺の植生に合わせた樹種を選定しているとのことだが、無理に周辺に合わせる必要はないと考える。</p> <p>菊水地域はブナ形成林の重要群落になっている自然豊かな場所である。そういった場所に業者が外部から苗木を持ち込むと、遺伝的な問題は避けられない課題となる。</p> <p>一方で、ポケットパークや土捨場はもともと人工的な土地なので、地元の方の希望を取り入れつつ公園的に整備する、植樹した樹木が例年雪害等で損傷するような箇所は、より強く水源涵養林として適した種を選定する、といったような方針も有力な選択肢であると考えている。</p>
事務局	<p>今後の補植等での植樹種を選定にあたっては、落葉広葉樹の中でもブナなど、強く強い樹種を選定する等、頂いたご意見も参考として十分検討してまいりたい。</p>
委員	<p>先程あったご意見と同様に、水源保全パンフレットは非常に良いアイテムであると感じる。</p> <p>子ども向けの啓発は重要と考えますが、本パンフレットの配布やイベント等による紹介は実施しているのか。</p>
事務局	<p>水源保全パンフレットは大人向けの内容で作成していることもあり、子ど</p>

委員	<p>も向けには配布していない。また金沢市では、カリキュラム上ほぼすべての小学4年生が末浄水場に体験学習に来ますが、基本的には浄水処理に主眼をおいた内容としているところである。</p> <p>仰せのとおり、子どもの水源保全に関する意識を高めていくことは重要と考えており、普及啓発の方策を検討してまいりたい。</p> <p>林野庁は、森林に関することを子ども向けに伝える機会を作っていきたいと考えており、安宅林風景林における松葉かき体験や自然観察会等を開催し、メディア等でも発信している。犀川水源区域の国有林においても、植樹祭等子どもが参加するイベントを実施できたら良いと考えている。企業局では、子ども向けの体験型イベント等は実施しているのか。</p>
事務局	<p>体験型イベントとしては、例年8月に夏休みこども水道教室を開催し、簡易ろ過装置の作成等を通じて浄水処理についての理解促進を図っている。そういった機会に水源保全活動の紹介や、自然と触れ合えるようなイベントを実施する等の対応を今後考えていきたい。</p>
委員	<p>森林保全について一般の方に啓発する際、我が事としてとらえてもらうために、水の話を必ずするようにしている。森林があるから水がつくられ、それが当たり前の飲み水として皆の口に入っていく。その一連の流れを切り口に説明していくと、身近なこととして理解してもらいやすくなる。</p> <p>森林再生課は先進的な木育林育に取り組んでおり、子ども向けのイベントも数多く実施しておられる。そういった機会に水道部門と一緒に参加することで、市としてもよりよい方向で啓発ができるのではないかと。</p>
事務局	<p>他の課所とのイベントでの連携については、検討していきたいと考えている。今後ともお気づきの点があれば、是非ご意見を賜りたい。</p>
委員	<p>地元管理会で様々な活動を行う中では、やはり高齢化が問題となっている。近年は若年層が山に入ることで自体が減ってきているので、若年層が山に触れ、興味を持つような活動が必要だと感じている。</p> <p>浄水場の見学などでその源流の水源地について想像してもらおうということも中々難しいことだと思うので、本来であれば、実際に源流の山の美しさを体感し、水源地の保全に対する意識を高めてもらうのが望ましいことだと考えている。</p> <p>例えば、当方では企業局と協力しながら、例年内川源流域でのイワナの放流事業を実施しているが、そうした源流域での活動を大人だけではなく、公民館や学校とも協力し、子どもたちと一体となつて行うといったことがあってもよいと思う。</p> <p>実現に向けて、土砂災害や獣害などの課題もあるが、若い世代を交えた水</p>

	<p>源保全活動について、企業局にも協力してもらいながら考えていきたい。今後ともよろしくお願ひしたい。</p>
事務局	<p>春のアユ放流、秋のイワナ放流を実施する源流域は、確かに大変きれいな景色がみられる。今後の放流事業等において、子どもにも参加してもらい、ともに楽しみながら水源について考える機会を作ることできるよう、企業局としても、地元管理会と協力しながら方策を検討したい。</p>
会長	<p>企業局では、過去のクリーンウォークにおいて地元の市民のみに声がけしていたという認識で良いか。</p>
事務局	<p>クリーンウォークは内川公民館が主催で、企業局は協力する形となっていた。よって企業局としては、職員の参加に加え、水道事業等の協力業者の皆様に声がけをしていた。</p>
会長	<p>近年では、環境教育の一環として関心があるご家庭も多いと思う。今後同様の活動を行う際には、地元に限らず市民一般に広く参加者をつのると良いのではないか。</p> <p>ごみ回収の実績に限らず、より多くの市民に現地を実際に見て歩いていただくことで、広く水源保全の意識を高めていただくこととなるのではないか。</p> <p>委員の皆様におかれましては貴重なご意見、ご提案をいただき誠にありがとうございました。それでは、委員から出された意見を充分斟酌し、今後の水源保全活動に活用していただくようお願いする。</p> <p>ここからは進行を事務局にお返しする。</p>
事務局	<p>本日、議論、提案いただいた貴重なご意見を、今後の水道水源の保全活動に活かしてまいりたい。</p> <p>以上で、令和5年度金沢市水道水源保全審議会を終了する。</p>

(別 紙)

令和5年度金沢市水道水源保全審議会出席者（順不同、敬称略）

会長 原 宏江 （金沢大学理工研究域地球社会基盤学系 准教授）  
川崎 秀親 （林野庁近畿中国森林管理局石川森林管理署 署長）  
砂山 亜紀子 （もりラバー林業女子会@石川 代表）  
中野 真理子 （石川県立自然史資料館 副館長）  
中山 寿人 （堂町保存管理会 会長）  
山崎 浩一 （金沢森林組合 代表理事組合長）  
坂口 智大 （石川県農林水産部森林管理課 主任技師）※  
※石井 康彦委員（石川県農林水産部森林管理課長）の代理

#### 事務局

松田 滋人 （金沢市公営企業管理者）  
市村 達也 （金沢市企業局 次長）  
川江 隆司 （金沢市企業局上水課 課長）  
吉永 晃一 （金沢市農林水産局森林再生課 課長補佐）  
藪内 充 （金沢市企業局上水課 課長補佐）  
稗島 志朗 （金沢市企業局上水課 課長補佐）  
北村 哲 （金沢市企業局上水課 浄水管理係長）  
石田 義則 （金沢市企業局上水課 主査）  
松岡 俊史 （金沢市企業局上水課 主査）  
下橋 良春 （金沢市企業局上水課 主査）  
藤井 貴仁 （金沢市企業局上水課 技師）